

会 議 録

会議の名称	西東京市都市計画マスタープラン策定市民懇談会（第3回）
開催日時	平成14年12月5日 午後7時00分から9時15分まで
開催場所	イングビル3階会議室
出席者	（委員）堀越座長、青木委員、宇賀神委員、奥村委員、田中委員、 鳥塚委員、中島委員、野中委員、蓮見委員、藤井委員、 松川委員、村田委員、山下委員 （欠席：永田副座長、大森委員、佐伯委員、武田委員、鶴野委員、沼委員、米山委員） （事務局）斉藤都市計画課長、館岡都市計画係長、松本主任、増岡主事
議 題	「全体構想の基本的内容」に関する検討等
会議資料	1 市民懇談会スケジュール（予定） 2 西東京市都市計画マスタープラン作成市民懇談会(第2回)会議録（案） 3 市民懇談会開催後の意見の取り扱いについて（案） 4 まちづくり検討シート 5 西東京市地域生活環境指標抜粋
会議内容	会議内容の要点記録

発言者名	発言内容
事務局	挨拶、定足数に達していることの報告。
座長	開会宣言
以下、発言者は記述せず、論点ごとに要点を筆記する	<p>【議事の要点】</p> <p>1. 第2回懇談会会議録と今後の懇談会後の意見の取り扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回懇談会の会議録に懇談会終了後に一委員より提出された意見書の概要を追加したことを報告した。 ・今後は、懇談会の場で発言しきれなかった内容について、懇談会后概ね5日間の間に意見を提出いただければ、会議録に概要を掲載し、計画への反映を検討することを説明し、了承いただいた。 ・懇談会での意見をはじめ、市民説明会やホームページで出された市民意見については、テーマごとに類型化し、意見の概要と対応結果（反映の可否等）について一覧表を作成することを説明し、了承いただいた。（ただし、懇談会ではなく行政がその説明責任を果たすために作成するものであること、作成後は公表前に懇談会に提示することが確認された。） <p>2. 全体構想の基本的内容に関する検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体構想の基本的内容について、分野別の「まちづくり検討シート」に意見を記入していく形で検討を行なった。 ・その結果、次のような意見が出された。 <p>【自然環境関連】（一部は交通網とも関連）</p> <p>緑被率（＝みどりに被われた範囲の割合）が急減しているという情報があり、道路の整備等よりもみどりの保全を重視すべきである。東大農場を核としたみどりや農地を保全することが優先課題であり、道路整備の必要性は感じない。駅前にせせらぎを整備し、魚等を放流している新座市の事例もある。西東京市でも検討すべきである。</p> <p>【産業・市街地活性化関連】（一部は自然環境とも関連）</p> <p>働く場を創出することが重要である。かつて下保谷にガラス工場があり活気がみられたが、公害を出さないような施設であれば、積極的に誘致すべきである。それによりみどりを失わないように留意することは当然である。</p> <p>市内でも失業者が増加しており財政を逼迫していることから、雇用の受け皿づくりは重要課題である。</p> <p>定年後に菜園栽培を楽しむ人が増えるなど、都市農業が復活する兆しがみられることから、農業を大切にすべきである。雇用の場を創出する効果もある。</p> <p>農業委員会でも市民との交流促進を考えている。農地に対する相続税の軽減等の取組みで、農業を守りたい。</p> <p>すでに市内にある市民農園の活用を図ることで、活性化につながる。保谷は梨が有名であるが、資源を発掘して活用する必要がある。</p>

若い人達にとって住みやすいまちを作ることが活性化に結びつく。杉並区のアニメ産業が有名であるが、従来型の工場建設ではなく新しいタイプの産業を育てる努力が求められる。

いわき市の文化会館は合併の機会を活用して円形の楽器練習棟を建設した。キャッチボールや楽器の演奏等、多様な活動を可能とする空間を提供することでまちは活性化し、産業も発展する。

統廃合後の学校施設を活用することも有効である。西東京市では西原第1・第2小学校の統合により第2小学校跡地を活用することが考えられる。

新町のように吉祥寺との結びつきの方が強い地域もみられることから、市の中心地を作り出す必要がある。明治薬科大学の移転は若者の流出を招く等残念であった。

現在ある環境と住みやすさを守ることが重要であり、道路整備・中心地づくり・産業誘致等の必要性は感じない。

長期間放置され周囲がフェンスで囲まれているような未利用地が散在しており、活用を図るべきである。

【交通網関連】

立ち遅れた都市計画道路の整備を進めるとともに、沿道に多様な施設が立地するように誘導に努めるべきである。(【産業・市街地活性化】とも関連)

ひばりが丘駅南口の道路のように、違法駐車に占用された車道に比較して歩道が狭く通りにくい状況を改善すべきである。

交通網の利便性だけを追求して整備しても、温泉地で日帰り客が増えてしまうように、問題も発生する。

駐輪場の不足により自転車で駅利用することが困難な状況を改善する必要がある。

【住宅・住環境関連】

生活者の視点を重視すべきであり、住宅都市が基本であるべきである。

【防災関連】

木造住宅の密集している地区では、地区内に消火施設を整備するなどの対策が必要である。

狭あいな道路は、避難・救援の面から危険であるため拡幅する必要がある。

高齢者宅を普段から訪問し状況を把握しておくのが逃げ遅れ対策となる。

【歴史・文化関連】

田無タワー付近を「文化の拠点」と位置づけているが、施設ありきの文化振興策ではなく、例えばオブジェのあるまちづくり等、右脳に訴えるようなまちづくりを工夫することが必要である。(事務局から、文化の拠点については、必ずしも新たな施設を行政自らが建設するのではなく、ソフト面から建築誘導を進める策もあり得ることの説明がなされた。)

工房的なふれあいの可能な施設づくりが求められる。

【その他】

施設づくり（ハード面）に関する記述のみでは不足であり、市民・行政双方の意識を変えていくためのコメントが欲しい。

「まちづくりの基本方針」としては、ソフト面からの検討・記述が不可欠である。

合併記念公園の整備や保谷駅南口の再開発など、我々の意向と無関係に事業が進行しているように感じられる。（事務局より、それらの事業は旧市のマスタープランや総合計画等に基づき決定・推進しているものであり、本懇談会では、その先のまちづくりのあり方に関するご意見をいただきたい旨、説明があった。）

マスタープラン策定時のみならず、普段から本懇談会のような議論の場を設置するべきである。

4. 次回以降の開催日時・開催場所について

- ・次回第4回の懇談会は、1月10日（金）第5回の懇談会は2月4日（火）の午後7：00からとする。
- ・第6回は3月中旬頃を予定する。

【懇談会後に委員より提出された意見の要点】

なし

（以上）